

**第1回 危機に甦るキリスト教の意義～未来学としてのキリスト教入門**

現代の様々な危機の根底には、資本主義経済および諸国家の権力の暴走があります。こうした資本の力とも国家の力とも異なる第三の力、未来社会を切りひらく力を、キリスト教を手がかりとして明らかにします。

**第2回 虐げられた者の解放～ナザレのイエスがもたらしたもの**

旧約聖書において、神はイスラエルの民をエジプトでの奴隷状態から解放しました。新約聖書において、ナザレのイエスは政治と宗教の圧制から人々を解放しました。キリスト教の本質と可能性は、この解放の記憶を蘇えらせることにあることを明らかにします。

**第3回 キリストの《復活》は現代人にとって何を意味するか**

十字架上で死んだイエスが復活したという伝承は、世界史に残る巨大な謎です。しかしこの謎に満ちた伝承によってこそ、処刑された変革者の教えと生涯は無に帰すことなく、後世に記憶され続け、社会変革の源泉であり続けていることを明らかにします。

**第4回 《地上の国》か《天の国》か～国家とキリスト教の相克**

キリスト教はローマ帝国以来、国家宗教となった反面、現実の国家とは異なる理想を指し示し続けてきました。現代の国連にも引き継がれる「剣を鋤に打ち直す」理想、さらに国家の「正義」とは異なる、聖書に由来する「正義」思想を明らかにします。

**第5回 金と神～ポスト資本主義のためのキリスト教**

金(マネー)への信頼は現代社会を支配する物神崇拜(フェティシズム)、聖書の言葉を用いれば「偶像崇拜」です。人間が自ら作り出したものに命を奪われる物神崇拜を克服して、ポスト資本主義の社会へと移行する道筋を、キリスト教を手がかりとして探ります。

**第6回 土(アダマー)と人間(アダム)～エコロジーとキリスト教**

(一泊二日:八ヶ岳でのキリスト教講座&エコロジーツアー)

旧約聖書は、人(アダム)が土(アダマー)から生まれて土に帰るもの、地球の子であることを語っています。こうしたエコロジカルな人間理解を再発見して現代に生かすことと、また地域の生態系に根ざした社会をつくる方法を八ヶ岳山麓で学びます。ゲストとして柳生博氏(八ヶ岳倶楽部、日本野鳥の会会長)をお招きします。

受講をご希望の方は下記のいずれかの方法でお申し込みください。

お申し込み後、振込先口座をご連絡します。ご入金確認後、正式なお申し込みとなりますので、ご了承ください。

**① 申し込みサイトからのお申し込み**

下記のサイトからお申し込みください。

<https://goo.gl/forms/wp5KyBYxDCYJSygA3>

**② FAXでのお申し込み**

下記のFAX申込書にご記入の上、FAX:0422-77-4368までお送りください。

**【問い合わせ先】**

合同会社ヘウレーカ 大野 メール:heureka@heureka-books.com TEL:0422-77-4368

※お申し込みの際にうかがった個人情報はお申し込みの講座にのみ利用し、それ以外の目的に利用いたしません。



申し込みサイト  
QRコード

**「連続講座 キリスト教で読みとく国家・資本・エコロジー」申込書**

ご希望の講座名

お名前

ご連絡先

TEL:

FAX:

e-mail: